

平成22年度 会計別決算総括表

区 分	歳入(A)	歳出(B)	差引(A)-(B)	
①一般会計	339億6,071万2千円	325億4,666万円	14億1,405万2千円	
国民健康保険	94億3,604万2千円	88億5,325万4千円	5億8,278万8千円	
後期高齢者医療	7億9,486万2千円	7億9,344万7千円	141万5千円	
老人保健	63万6千円	52万3千円	11万3千円	
介護保険	76億9,365万8千円	75億2,524万4千円	1億6,841万4千円	
介護サービス事業	1億5,799万6千円	1億3,502万3千円	2,297万3千円	
戸別浄化槽整備事業	2,838万4千円	2,786万1千円	52万3千円	
小規模水道等事業	333万1千円	313万9千円	19万2千円	
休日夜間急患センター	4,216万6千円	3,888万1千円	328万5千円	
田代診療所事業	6,901万6千円	6,625万5千円	276万1千円	
公設総合地方卸売市場	1,476万5千円	1,412万2千円	64万3千円	
②特別会計				
農業集落排水事業	5億273万3千円	4億9,224万9千円	1,048万4千円	
公営駐車場事業	4,273万円	4,191万5千円	81万5千円	
温泉開発	1,943万5千円	1,508万4千円	435万1千円	
奨学資金	3,468万6千円	3,158万3千円	310万3千円	
都市計画事業	5億1,774万3千円	5億1,629万3千円	1,450万円	
土地取得	8万6千円	8万6千円	0円	
宅地造成事業	2,334万1千円	2,333万8千円	3千円	
財産区	上川沿	45万9千円	34万6千円	11万3千円
	下川沿	3万5千円	2万円	1万5千円
	片山	1,822万1千円	1,821万5千円	6千円
	川口	139万4千円	127万円	12万4千円
	餅田	140万8千円	134万2千円	6万6千円
	立花	309万5千円	303万3千円	6万2千円
	山瀬	975万3千円	3万4千円	971万9千円
計	194億1,597万5千円	186億255万7千円	8億1,341万8千円	
③企業会計				
病院	112億9,743万7千円	118億5,432万4千円	△5億5,688万7千円	
水道	15億2,851万3千円	17億4,841万7千円	△2億1,990万4千円	
工業用水	4,478万9千円	6,526万4千円	△2,047万5千円	
下水道	23億7,771万8千円	29億9,885万5千円	△6億2,113万7千円	
計	152億4,845万7千円	166億6,686万円	△14億1,840万3千円	
合計	686億2,514万4千円	678億1,607万7千円	8億906万7千円	

特集

平成22年度 市の財政状況

平成22年度の決算がまとまりました。1年間にどのようなお金が入ってきたか、どのようなことに使ったかをお知らせします。

問 財政課財政係 ☎43-7030

■会計

一般会計、特別会計と企業会計を合計した市全体の決算額を見ると、歳入、歳出ともに、おおよそ半分の金額が一般会計に使われていることが分かります。
特別会計の中でも、国民健康保険や介護保険などの保険給付事業を行っている会計の決算額が大きいことが分かります。

①一般会計
市の会計には、一般会計、特別会計、企業会計があります。市の予算の中心を成すもので、市民の生活に欠かせない基本的な経費を扱う会計です。

②特別会計
道路や公園の整備、ごみ処理、福祉事業などに使われます。

③企業会計
特定の事業を行うために、一般会計と区別して単独で設けられた会計です。国民健康保険税や農業集落排水使用料などの財源で運営しています。

③企業会計
独立採算制で行う、病院・水道・工業用水道・下水道事業です。

